

越後駒ヶ岳・中ノ岳

阿部 満孝

■山行年月日:2022年9月30日-10月1日

■メンバー:阿部満孝

■コースタイム:枝折峠登山口 5:51～中ノ岳 15:00～中ノ岳避難小屋泊 5:30～枝折峠登山口 13:20

枝折峠登山口に5:30に着いたが、金曜日だというのに朝日写真を取りに来る人で車がいっぱい、正規のところには止められず、道祖神前の空きスペースに駐車した。そこから、出発し明神峠までは、普通の登り、急なところは木製階段になっている。そこから、道行山・小倉山はゆるやかな斜度でいくつかの小ピークをすぎる。百草ノ池から岩場の急な登りも現れ、樹林帯を抜ける。駒の小屋に着くと、そこには3分でいける水場がある。ほとんど枯れかけていたが、少し流れが残っていたので何とか水を補給できた。そこからは、紅葉の美しい登山道を景色を楽しみながら登って行く。越後駒ヶ岳頂上は快晴で、素晴らしい景色が楽しめた。7月に登った八海山や、これから行く中ノ岳が望める。そこから少し戻り頂上に近い分岐を中ノ岳方面に進む。ここから天狗平(最低鞍部)・檜廊下までは、暑い陽光の照らされながら進む。本当に暑かった!そこからは、登山道が尾根の東側で山影になることもあり、しのぎやすくなった。ここで暑さに負けて休憩したときにサングラスを忘れてきてしまい、翌日の帰りに探した

が見つけられなかった。駒ヶ岳から中ノ岳の道は、駒ヶ岳の整備された道と比べて、明らかに危険なトラバースや岩場が多くなる。岩場は、注意して登れば問題ない程度なのでよいが、トラバースは、気を抜くと滑ることもあるので要注意だ。ここは、ずっと紅葉の中を歩いていくコースになる。中ノ岳避難小屋に荷物を置いて、空身で頂上に向い、荒沢岳・兎岳などの景色を楽しみ小屋に戻る。夕方になると、ちょうど東川方面になる荒沢岳に中ノ岳の影が映る。小屋には、10人ほど泊り客がいて、荒沢岳登山口から来た猛者も何人かいた。翌朝、頂上で朝日を楽しんで中ノ岳に向かう。朝の涼しい時間帯なので、来た時よりも余裕で駒ヶ岳まで行けた。朝の輝く紅葉も楽しめた。駒ヶ岳の頂上で、昼食をとり景色を楽しんでから山を下った。下ったところの駐車場は、土曜ということもあり、来た時よりいっぱい出るのに少し苦労さした。帰りは、交流センター ユピオ(¥500)で入浴し、翌日の荒沢岳登山に備えて、道の駅ゆのたにで車中泊した。



中ノ岳への登山道